

台湾フォルモサ

詩:堺秀一・理恵 曲:堺理恵

$\text{♩} = 90$
p.f

Glissando

1.たい わんフォルモサ う るわしのしま、 に ほ んの となり

4

の くに、 たい わんフォルモサ 主 を知らぬくに、 むな しくほろびゆ

8

く 。 たい わんフォルモサ ゆたか なくに、 おい
ん をあいし にほんごーで 生き
た ーにーも 見えま すーか、 ほん

12

しいしょくじあふ れるもの、にせん百万のひと びーとが さまざまに生きてい
てるろう人たちが いる、おかねはあれどむなしーさに 泣く ひとびともい
とうのたいわんのす が たが、つみのなかでたお れている きぼ うなきひとび

17

る 、 たい わんフォルモサ あ たたかなーしま ひ こうきでほんの
る 、 かなしみのーしま 主 イエスを知らな
と 、 わ すれられたしま だ れにもすてら

21

にじかん、 たい わんフォルモサ お おらかなーくに、 ひと もーあたたか
いーまま、 の こされたーくに、 ほろびに 向かって
れたまま、 ま ちこがれるくに、 主の 愛をもとめて

25

1.2. いる 。 2. にほ る ー、 ふく いんをつ たえよ うー、 あな
る 。 3. あな

29

た の あいを もとめて る 。